

議会トピックス

市民に信頼されとともに、多様な人材が参画できる環境を整えるため、市議会に関する条例や規則について、制定や改正を行いました。

記載した発議順は、関連する内容により順不同となっています。

議員の透明性確保のために

●発議第7号

廿日市市議会議員の

請負の状況の公表に関する条例
地方自治法の一部が改正されたことに伴い、議員が本市に対し請負をする場合、その状況を公表すること等により、透明性を確保し、議会運営の公正と事務執行の適正を図ろうとするものです。

報告については、毎年6月の期間に、前会計年度における本市に対する請負について、議長に対し一定の事項を報告し、公表しなくてはならないこととなりました。

この報告は5年間保存され、誰でも閲覧や写しの交付を請求することができます。

多様な人材が参画できる議会となるために

●発議第8号

廿日市市議会議員政治倫理条例の

一部を改正する条例
本条例は平成23年10月に施行され、地方自治法の「議員の兼業禁止」の規定に基づき、本人を含め2親等以内の親族などが関わる本市との請負を全て禁止していました。

地方自治法の一部改正で、「1会計年度の取引額の合計が300万円以内であれば、兼職禁止規定に抵触しない」とされたため、本市との請負に関する禁止事項を廃止します。

兼職禁止規定により、議員への立候補を諦めていた人も、議会に参画できる可能性が広がります。なお、発議7号の請負状況の公表により透明性は確保します。

●発議第6号

廿日市市議会規則の

一部を改正する規則
本会議と委員会における表決の法

方として、廿日市市議会では起立による採決のみ（委員会では運用により挙手採決）となっていました。が、挙手による採決も可能とするほか、本会議場ではボタン方式による電子表決システムが導入可能となるよう規則を改正しました。また、これまで表決に関する異議等に必要な議員数を4人以上としていましたが、議案提出に必要な賛成者数と同じ3人以上とするよう改正しました。

本会議場へ昇降機付き演台と発言台を設置



多様な人材が参画できる議会環境整備のため、本年7月に本会議場に昇降機付き演台（議長席側）と発言台（議員席側）の設置工事を行いました。身長に合わせ高さを変えることが可能で、9月定例議会から使用開始しています。

未来を話そう!

はつかいち子ども議会2023

8月26日、第2回目となる「子ども議会2023」が本会議場で実施され、市内の公立・私立中学校11校から選出された子ども議員たちが、未来への質問を行いました。

万全の態勢で質問を行うため、市議会議員からは議会制度について、市職員からはまちづくりについて、3回にわたり開

催されたプレ学習会で基礎知識をしっかりと学びました。



令和4年度決算認定審査を

決算特別委員会へ付託

令和4年度の決算認定は、9月28日の本会議最終日に決算特別委員会に審査を付託し、委員長に林忠正（成蹊21）、副委員長に北野久美（新政ウ）（新政クラブ）を選任しました。特別委員会は、10月12、13日及び20日に開催し、12月定例会初日の本会議での委員長報告後、全議員による認定の採決を行います。選任された委員は次のとおりです。

委員長	林 忠正（成蹊21）
副委員長	北野 久美（新政ウ）
委員	梅田 洋一（新政ウ）
	吉屋 智晴（無会派）
	水野 善丈（無会派）
	向井 恵美（新政ウ）
	隅田 仁美（公明党）
	枇杷木正伸（みらい）
	広畑裕一郎（成蹊21）
	堀田 憲幸（みらい）

議決結果

会期 令和5年9月8日～9月28日

令和5年第3回定例会の議案等のうち賛成・反対が分かれたものについて、各議員の賛否の状況をお知らせします。その他の議案等は、全会一致で可決・同意となりました。

議決日	種別	番号	事 件 名	議決結果	賛成(人)	反対(人)	1 濱本 紀洋	2 坂本 和博	3 梅田 洋一	4 山崎 英治	5 山下 竜太郎	6 吉屋 智晴	7 水野 善丈	8 向井 恵美	9 隅田 仁美	10 欠 番	11 大崎 勇一	12 北野 久美	13 山口 三成	14 枇杷木 正伸	15 中島 康二	16 田中 憲次	17 広畑裕 一郎	18 林 忠 正	19 山田 武 豊	20 大畑 美 紀	21 井上 佐 智子	22 佐々木 雄三	23 徳原 光 治	24 高橋み さ子	25 栗栖 俊 泰	26 堀田 憲 幸	27 岡本 敏 博	28 新田 茂 美
9月28日	議案	67	令和5年度廿日市市一般会計補正予算(第4号)	原案可決	25	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長
9月28日	請願	1	学校給食への公的補助を強め、完全無償化を求める請願	不採択	2	24	×	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議長

〔表示例〕 ○…賛成 ×…反対 欠…欠席 議長…議長職

討 論

議案第67号 令和5年度一般会計補正予算（第4号）

反対討論

・上質な宿泊施設公募に関するコンサルティング業務委託料400万円は、宮島包ヶ浦自然公園に海外の富裕層向けの宿泊施設を誘致する計画で、宮島の住民の理解を得るために募集要項を作るというものである。一部富裕層だけをターゲットにした政策は宮島観光に資するとは思えない。自然公園として整備し直すほうが魅力は増す。

・アジアトラリアスロン選手権大会の企画運営は市職員の過重負担になる。市の財政負担は今回の組織委員会負担金760万円を含め約2500万円で、前回大会より減る見込みだが、市民スポーツ推進により力を入れるべきである。

賛成討論

・今回の補正予算には医療拠点整備や広島岩国道路割引の社会実験など重要なものがある。包ヶ浦自然公園関連は、住民の声をどう募集要項に反映させるかというもので、国の「上質な宿泊施設の開発促進

事業」に採択され、価値が認められたので、実現に努力すべきである。来年のアジアトラリアスロン大会は成功裏に収まることを期待している。

・宮島包ヶ浦自然公園については納得感が得られ合意形成ができ、何よりも宮島の子どもたちに将来誇りに思えるような計画ができればと願う。

請願第1号 学校給食への公的補助を強め、完全無償化を求める請願

賛成討論

学校給食には教育的意義がある。小中学校とも無償、あるいは今年度実施の自治体が全国で482ある。国も調査はしているが、無償化の具体的な計画はない。国による無償化を求めつつ、本市もできる形で始めるべきである。

反対討論

・無償化には4億円の財源が必要となる。就学援助で一定のセーフティネットは確保できており物価高による上昇分は市が負担している。優先順位を考えると困難である。・経済的支援だけでなく、食育などの狙いや目的など、しっかり制度設計をすべきである。